こばカフェ 2024

実　施　報　告　書

令和７年１月

小林市議会　広報広聴委員会

目　次

１．開催概要　・・・・・・・・・・・・・・・　２

（１）「こばカフェ」の目的

（２）開催日、開催場所及び参加者数

２．各会場で出された主な意見・アイデア　・・・・・・・・・・　３

【小林中学校区】中央公民館

【東方中学校区】東方研修館

【三松中学校区】内侍塚農村環境改善センター

【野尻中学校区】野尻町いきいきコミュニティセンター

【西小林中学校区】西小林地区公民館

【永久津中学校区】永久津小学校 多目的室

【須木中学校区】須木総合ふるさとセンター

【細野中学校区】南部いろり村

【紙屋中学校区】紙屋老人福祉館

３．意見交換会後の市民意見等の取扱いについて　・・・・・・　８

（１）各常任委員会における協議の結果

（２）今後の市民意見等の取扱いについて

４．参加者アンケート結果　・・・・・・・・・・・・・・　１０

１．開催概要

（１）「こばカフェ」の目的

地域や職域の垣根を越えて市民の意見を幅広く聴取し、議会内での議論・政策提言の資源とするため、「広聴機能」に特化したカフェ方式による意見交換を実施するものである。

（２）開催日、開催場所及び参加者数

中学校区を単位とした９カ所で、10 月 15 日～25 日の期間中に実施。

開催日	開催場所	参加者数
令和６年 10 月 15 日（火）	【小林中学校区】中央公民館	14 人
	【野尻中学校区】 野尻町いきいきコミュニティセンター	９人
令和６年 10 月 16 日（水）	【東方中学校区】東方研修館	18 人
令和６年 10 月 17 日（木）	【三松中学校区】 内侍塚農村環境改善センター	13 人
令和６年 10 月 21 日（月）	【西小林中学校区】西小林地区公民館	21 人
令和６年 10 月 23 日（水）	【須木中学校区】 須木総合ふるさとセンター	19 人
令和６年 10 月 24 日（木）	【細野中学校区】南部いろり村	５人
	【永久津中学校区】 永久津小学校 多目的室	12 人
令和６年 10 月 25 日（金）	【紙屋中学校区】紙屋老人福祉館	14 人
合計		125 人

２．各会場で出された主な意見・アイデア

【小林中学校区】中央公民館

・自治会の弱体化、区長・組長の成り手不足
・区長の手当が少なく、費用弁償が必要
・未加入者への対応に不公平感、地域コミュニティー税の提案
・いきいき交付金の活用
・防犯灯の設置ルールのあいまいさ
・消防協力費の地域差
・自主防災組織の見直しが必要
・住みやすさのランキング向上
・コミュニケーション不足と世代間交流の欠如
・教育問題、指導者不足
・不登校問題と特例校へのアクセス
・道路、インフラ整備と交通手段の充実
・病院不足・医師確保の課題
・市立病院の診察の受けにくさ
・高齢者の移動手段確保
・ゴミ分別の高齢者への負担
・介護の行き届かなさと在宅介護の厳しい現状
・議員定数と議員報酬の見直し

【東方中学校区】東方研修館

・高山地区は宅地が少なく、若い世代が戻りづらい。
・子供を授かることで生活が不利になることが多い。
・独身者への支援対策が必要。
・教育機会が平等でない。
・地元での職場環境が不足し、安定した仕事を持つことが難しい。
・子育て世代や独身者の負担が大きい。移動手段の整備が求められる。
・若者の声として、街灯が少なく、集まる場所がないとの意見があった。
・情報の遅れ（広報紙の配布が遅い）や地域コミュニティの希薄化が問題。
・公民館行事への参加者が少ない。
・地域コミュニティを育むため、運動会やまつりなどのふれあいの場の復活が求められる。
・市道や農免道路の草刈りが追い付いておらず、安全面が懸念される。
・歩行者保護のための白線や防犯灯が不足しており、危険を伴う。

・倒木や河川の問題について市との連携が必要。
・行政や市政の動きが見えづらいとの声があり、広報広聴委員会の充実が求められる。
・商店が少なく、買い物がしづらい。
・東方団地付近の不法駐車問題。
・陰陽石の観光資源としての活用が進められるべき。
・子どもの頃の体験を大切にし、地域の想いを醸成する取り組みが必要。
・災害時の避難所に毛布などの備品が不足している。
・高齢者の一人暮らしに対する不安や交通手段の整備が求められている。
・市への要望として、職員による直接の訪問や市民の声を聞く体制の強化が挙げられた。

【三松中学校区】内侍塚農村環境改善センター

・人間関係の希薄化: 行事のイベントが少なくなり、気軽に集まる場所が求められている。親子会のイベントや世代間でのアイデア交換を促進し、高校生によるアイデア出しの場を設けることが提案された。
・高齢者の支援: 免許返納後の交通弱者が多く、一人暮らしの高齢者が支援を求めている。特に三松地区では介護やゴミ問題が顕著で、高齢者がゴミ出しを困難に感じている。ゴミ出しの方法やふれあい回収の改善が求められている。
・子どもたちの過ごし方: 子どもを学校に送る親が多く、体力低下や多忙な習い事が懸念されている。スクリーンタイムの管理や地域イベントの復活が必要とされている。
・地域コミュニティの活性化: 夏のプール監視や地域イベントの企画に人材不足が見られる。地域全体を巻き込む体制を。
・遊び場の不足: 若者や子どもたちの遊び場が不足しており、三松地区には公園が１つしかない。地域の世代間や横のつながりが少なくなっている。
・障がい者支援の現状: 障がい認定者への医療費助成が不十分で、精神障がい者への支援が特に不足している。地域内でのフリースクールや支援の輪を広げる必要性がある。
・地域の観光資源: 地元の良さを再認識し、隠れた観光地や魅力を発信することが求められている。観光資源を生かすためには、まず自分たちがその良さを知ることが重要である。
・災害時の体制: 地域の災害時のリーダーシップや助け合い体制の強化が必要である。
・絶景マラソンのコースに魅力ある風景を
・三松小学校の校舎・体育館……かわいそう。
・一般財源で『ふれあい広場』（砂場程度でもいいので）創る。

【野尻中学校区】野尻町いきいきコミュニティセンター

・地域・常会での祭りを企画し常会未加入者の取り込みを行う。
・子供を中心とした祭りや地域行事の企画を考えては。
・区・組の再編を考える時期では。
・不法投棄のゴミについて市民が集めた分を市として回収する方法を考えて欲しい。
・ごみ減量化を目指すために、家庭でできる生ごみの資源化(再利用化）のアイデア募集を考えて欲しい。
・コンビニ、スーパー等に不法投は違法であるポスターを掲示してもらう。
・各飲料メーカーに自販機周りの清掃をしっかりしてもらうよう指導をお願いしたい。
・高齢者の場合分別が困難⇒ゴミ分別支援ボランティア(有償)制度又は高齢者へは市で支援等を充実させる。
・ふれあい収集の要件緩和
・焼却炉建設費等について市民へどの程度負担になるのかシミュレーションが必要と思う。
・広く市民の声を聞くためには年代、世代別の意見交換会の開催も必要では
・少子化対策として、子育て世代との話し合いや産婦人科の設置要望
・防災ラジオの放送工夫もして欲しい(地元の高齢者にも判り易く)
・福祉バスの路線についての要望。

【西小林中学校区】西小林地区公民館

・西小林地区の公民館が少なく、コミュニティ活動が制限されている。カーブミラーの設置や高齢者の買い物支援が必要。
・学校施設の老朽化が進んでおり、特に小学校のトイレや中学校の部活動環境の改善が必要
・自転車のヘルメット着用の義務化や、危険な交差点の停止線設置。
・安全な農作物の生産流通の充実をお願いしたい。
・ゴミの分別が厳しく、不法投棄が問題となっている。
・早急な道路の改修が必要で、特に通学路の安全対策が求められている。
・不登校の子どもが増えており、引きこもりや認知症への対応をどの様にするか。
・幼児、低学年の遊べる公園が近くに無い公園の整備を
・高齢者の買い物難民問題が深刻、タクシー券が少ない、デマンド交通の利用方法が判らない
・町づくり協議会の活動が他の団体と連携していないため、情報共有や交流会の開催が求められている。
・市民への接客態度の改善も必要。

・地域イベントが少なく、住民の郷土愛が弱い。イベントの企画や観光施設の充実が求められている。
・精神障害者への支援が不足しており、補助制度の充実が必要。
・少子化対策として、企業誘致や子育て支援施設の整備が求められている。
・子育て世代の問題として産婦人科は絶対に必要、借金をしてでも設置すべき。
・校区外の学校への送迎問題。
・国道、県道沿いであり、対応が遅い。道路の幅員問題は農業機械の大型化によるものであり現状の状況をまとめる必要が有ると思う。また市へ要望を挙げても予算が無いで済ましている。

【永久津中学校区】永久津小学校 多目的室

・地区内に若者向け公営住宅の整備
・農地に対する住宅建設の規制緩和
・子育て家族対策として放課後児童クラブの充実
・企業誘致を進め働く場の提供
・行政も地域の現状を見たいり話を聞いて欲しい。
・若い世代が将来帰って来たいワクワクする街にして欲しい。
・若い世代の定住・移住者に対し保育料、市税の優遇措置を検討して欲しい。
・空き家バンク制度の充実を図ってほしい改修補助金額の増額を希望現行 50 万⇒200 万円程度まで
・通学路、自転車道路も含め改修を早く進めて欲しい
・色んな陳情・請願に対し最初から予算が無いから出来ないでは無く、もう少し工夫や取り組む姿勢が欲しい。
・市職員も地域担当職員を配置する事で縦割り行政から横断的な行政取組になると思う。

【須木中学校区】須木総合ふるさとセンター

・災害時に於ける迂回路の整備、避難所の増設
・企業が少なく働く所が減っている
・以前は、介護施設が有って市内から働きに来ていて保育園に子供を預けていた。市内にでも働くところが有れば通うことができる
・男性の働く企業誘致→人口減少
・空き家対策→ゲストハウス
・国スポ後の活用教育施設・教育環境の整備を
・市の中心部に比べて、不便な所に住んでいるので税金の優遇処置などで移住者を呼び込む

・観光に対して市の PR が不足・下手
・ふるさと納税の返礼品（須木産品の拡大）
・国スポを通して小林市内の生徒達へ競技への参加

【細野中学校区】南部いろり村
・役員の成り手
・子供の居場所遊び場がない
・若者の働く場
・地域の特産物作り提案が求められる
・まち協の活動は活発で活気、視察も多いが活動資金の不足や自己資金作りに苦労も多い。地域活動に対する地元の協力体制も整っており、他の見本となるべきもの大きい。
・2025 年問題を目前に人口減少が加速するものと予想されるから今後のまち協の在り方、支援また多大な公共施設維持管理の在り方が問われる。超高齢化社会のまち協活動の方向性→ミッション・ビジョン。公共施設のスマートシュリンク→バリュー。徹底した検討、取組みも急務である。ムダを省く。市民の理解を得る事が重要。

【紙屋中学校区】紙屋老人福祉館
・子どもや若者が楽しめる場所が欲しい
・停電問題；宮崎線と都城線を早く繋いで欲しい
・地方創生とは何をやろうとしているのか進捗を確認分析をしてほしい
・少子化での学校存続への取り組み方
・PTA とまち協の取組み
・通学路 PTA が主体で。区長が中心ではだめ
・宮崎市と小林市の中間の位置だからこそ出来る事を（道の駅風的）
・紙屋地区の地方創生 10 年の取り組み現状、政策の検証
・地域住民の努力と先を見据えた観察力と準備が求められる
・空き家を活用して飲食店や直売所
・まちづくり協議会と PTA がコラボしたイベントの開催
・通学路は PTA で点検して学校を通じて市へ要望
・国道の災害対策は県議を通じて県に要望
・消防団の活動費については市議会で取り上げてもらいたい

３．意見交換会後の市民意見等の取扱いについて

意見交換会終了後、広報広聴委員会において各会場で出された意見・アイデアを所管する各常任委員会に振り分け、さらに各常任委員会において、その意見・アイデアを集約した上で、以下のように４つに分類し、今後の取扱いを協議しました。

（１）各常任委員会における協議の結果

	総務文教委員会所管	経済産業委員会所管	市民厚生委員会所管
議会全体で議論が必要な事項	・消防団の活動費について	－	・医療（病院不足、医師確保、産婦人科の設置） ・ごみ処理の在り方 ・高齢者の課題（移動、ごみ分別） ・少子化対策（子育て世帯への税や保育料の優遇措置）
年間テーマと関連することから、今後委員会で議論を深めていく事項	・公共施設老朽化対策	－	・介護の行き届かなさと在宅介護の厳しい現状 ・障がい者支援の現状
市の担当部署に詳細な内容の確認が必要な事項	・国スポを通じて小林市内の生徒たちの競技参加を促進	・道路の安全対策 ・国道の災害対策 ・働く場、少子化対策の一環としての企業誘致 ・農地に対する住宅建設の規制緩和	・不法投棄ごみの周知及び処分について ・家庭での生ごみの資源化(再利用化）のアイデア募集について ・自動販売機周りの清掃について
今後の委員会審査に生かしていく事項	・地域コミュニティの強化と行政支援 ・防災と災害対策 ・教育環境の整備（充実） ・公共交通の利便性の確保 ・定住移住の支援 ・空き家対策 ・観光資源の整備と PR	・観光資源に関すること ・通学路、自転車道路の改修について	・市立病院の受診について ・若者や子どもたちの遊び場の不足について ・一般財源で『ふれあい広場』（砂場程度でもいいので）を創ることについて ・放課後児童クラブの充実

（２）市民意見等の今後の取扱いについて

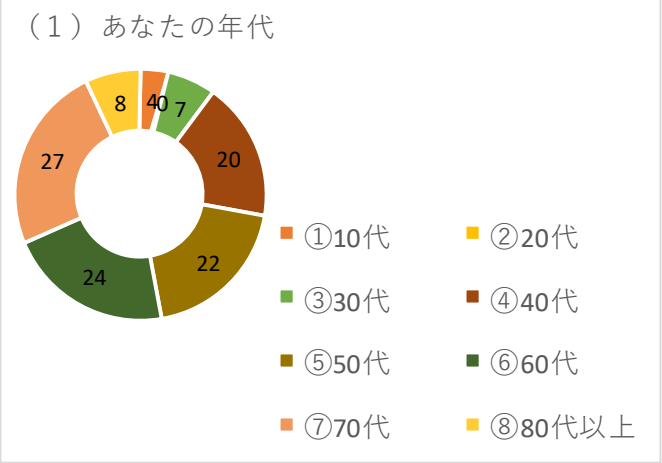
「議会全体で議論が必要な事項」「年間テーマと関連することから、今後委員会で議論を深めていく事項」については、議会内で時間をかけて協議を行わなければならない事項と考えられることから、今後も引き続き各常任委員会を中心に協議を行い、その経過等を適宜、市民の皆さんに報告していきます。

「市の担当部署に詳細な内容の確認が必要な事項」「今後の委員会審査に生かしていく事項」については、今後の委員会の中での質疑等に生かしていきます。

４．参加者アンケート結果（参加者 125 名中、回答者 112 名）

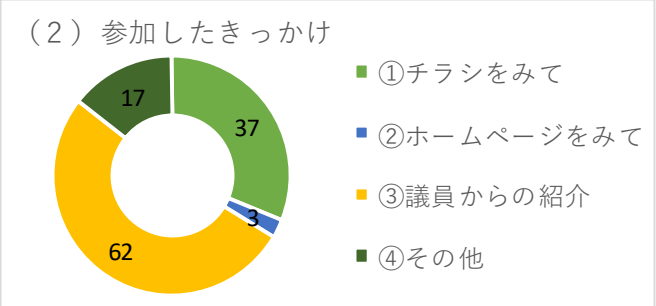
（1）あなたの年代を教えてください

選択項目	回答数
①10代	4
②20代	0
③30代	7
④40代	20
⑤50代	22
⑥60代	24
⑦70代	27
⑧80代以上	8
	112



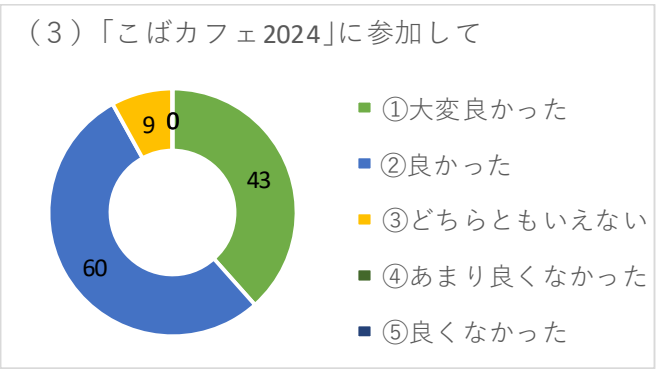
（2）参加したきっかけを教えてください　(複数回答)

選択項目	回答数
①チラシをみて	37
②ホームページをみて	3
③議員からの紹介	62
④その他	17
	119



（3）「こばカフェ 2024」に参加して良かったですか

選択項目	回答数
①大変良かった	43
②良かった	60
③どちらともいえない	9
④あまり良くなかった	0
⑤良くなかった	0
	112



（4）（3）の理由

・初めてこのような会に出席しました。出席者の方々も色々な思いをされていることに驚いています。これからも機会がありましたら、是非出席したいと思います。

・皆から出された意見を熱心に聞いていただいた。

・初めてで良かったのでしょう。

・とても勉強になった。

・話をしても実現できるのか。結果が出せるのか。
・いろいろな意見、問題点を知ることが出来た。
・小林市の将来に向けて現状や課題について共有してアイデアを自由に語れて良かったです。
・地域の問題を再確認
・この方法（グループ討議）では多くの市民は集まらない。
・議員さんが真剣に市民に耳を傾けてくださっているのが分かりました。
・交通ー足がない
・買い物をするところがない
・中学生、高校生の生の声を聞けて良かったです。これから高齢者、若者が一緒に地域の行事に参加できるよう新田場で実行していきたいです
・自分が普段話をしないような世代の方々と話ができて、違う角度からの考え方が知れてよかったです。また、自分の意見も皆さんに知ってもらえて有意義な会だったからです。
・それぞれの世代の色々な考え、意見が出て良かった。
・色々な事を聞けた
・ざっくばらんな問題提起と市職員の方と話ができたのでよかった
・いろいろな意見を聞くことができた
・普段感じていることを伝えることができたため
・市議と話すこともあまりなかったので良かった。
・議員さんたちの雰囲気がわかって面白かった。
・議員さんとの会話ができて良かった。
・参加していろんな事が分かってとても良かったです。
・普通外で言えないことが話せてすごくうれしかった
・今までにない具体的な意見等がでて有意義であった
・区長だけの参加がチョット残念でした。しかし、多くの意見があり楽しく話し合うことができ、ありがとうございました。
・今までになかった。今後も継続必要。時間が足らない。半日ぐらい必要
・議員の考え方が見えなかった。
・話が深まらなかった
・いろんな立場の方の意見が聞けて良かったですし、私も話を聞いて頂けたのが嬉しかったです。
・初めて参加しました。色々な意見が聞けて良かった。
・参加者それぞれの意見聞けて勉強になった。
・問題点の解決方法に光明が見えた。
・いろいろな人との交流がはかれて楽しい時間を過ごすことができた。議員さんを身近に

感じられてよかった。自分の意見が実現の可能性をもって語れるのはうれしいことです。
・教育関連の件で私自身知らないことが多く、良い勉強になりました。
・生で話せて良かった。もう少し時間が欲しい。
・皆さんのたくさんの意見が聞けて楽しかった。
・いろいろな考え、意見が多く聞けて良かった。
・地域課題について、他の意見もありましたが、テーマに沿っての協議のため個人的には言いにくい状況でした。
・いろんな声を聞けて、いろんな視点から問題を見ることができたから。
・前回とはまた違ったメンバーでそれぞれ違う意見を聞けたため。また、発表の機会までいただいて、ありがとうございました。
・地域の課題がよく出ました。
・他人任せにしないためにまず自分からと思い参加しました。集まった方々の意見に発見も多く、有意義なイベントだと感じた。
・多くの人の意見が聞けた
・小林以外からの参加でしたが、とっても楽しい時間でした。話しやすい雰囲気が良かったです。
・色々意見を聞いてもらえた。
・思いを市議の皆さまに伝えることができた。
・ふだん心にためてたものを発言できて良かった。
・参加してみてたくさんの意見が聞けたし、意見も言えたから
・違った年代の人と意見交換ができた
・こばカフェ→議員と語ろ会
・皆さまがどのような悩みや考えの交流ができてとても良かったです。これからの提案どのように課題を解決するのかヒントを得られました。今後、一歩でも踏み出せるように頑張っていきたいと思います。
・紙屋地区での問題点が多数聞けて良かった。
・色々な意見を聞けた。思っている事も伝えられた。これをきっかけに議員さんとも話せる機会があって良かった。
・地域での色々な問題の発見や解決策を考えることができた。
・地元地域の方の意見が聞けて良かった。
・会話できて良かったと思います。
・若い人の意見が聞けて良かったです。
・地域の問題を再認識できた。
・同じ須木地区のメンバーの意見を共有できた。本当、うかうかしておれない。須木対策。

・色々な意見が聞けました。
・須木に住んでいる人達は皆同じような思いや不安を抱えているんだなと思いました。
・須木をはじめ、小林全体の問題としても考えを深めるなどができた。
・いろんな方々の意見をきけたこと
・せっかくのよい機会ですので、コンセプトが明確になっていると話しやすかったと感じた。
・複数の議員さんに須木の課題を知ってもらえたのは良かった。
・色々な立場の方たちの意見が聞けて良かった。
・地区の問題が多く出されたたのが良かった。
・多くの意見を聞くことができた。
・異業種の人と交流できたことが良かった。
・様々な意見が聞けて、現状の認識ができた。
・まちづくり協議会で取り組むべきことが考えられた。
・グループ形式で意見を発言しやすい形は良かった。
・運営が上手く、参加者と楽しく意見交換ができました。
・良かったが、意見を言う場がなかった。
・いろいろな話を聞けた。
・普段思っている事が言えた。
・聞いたことのある内容が多かった。
・色々話を聞けて良き
・生の声（一人一人が実際に直面している問題）を知ることができたため（今後の仕事のモチベーション、自分の将来につながると感じた）
・話がみえてこない。
・子供の不登校の件、又障がい児を持つ親として。障がい者は全部１つである。
・普段お話する機会のない方々と、様々な困りごとについて、共感を持って会話ができて、大変有意義な時間であったと思います。議員の皆さまでぜひ、出されたご意見を細かい部分まで大事にすくっていただけたらと思います。
・初めての参加でした。色々な意見が飛びかってよかったです。
・自分の周りだけの意見だと、子育て関係のことばかり出てくるが、いろんな世代の方とも話すと、障がい者目線や高齢者目線の意見も聞くことができました。
・身近な問題点が多くわかった。
・いろんなお話を聞いていただき、ありがたかったです。
・参加させていただいて、地域の課題を広く知ることができましたし、市政に届く場があることにうれしさを感じました。
・議員と話ができた。

・色々な問題を共有できた。

（５）「こばカフェ」について、ご意見・ご感想等

・気楽に思っている事を言えたことが大変良かった。また是非出席させてください。ありがとうございました。

・出された意見が市政に反映されることを期待する。

・もっと多くの人が参加できるように工夫して欲しい。とてもいい会だと思います。

・また色々なテーマを自由に話し合えると良い。

・転入者、移住者、若者、高校生などの参加があると、また新たな視点からのアイデアが出るのではないかと思います。

・議員さん司会進行係さんの話し方が堅い。もう少しゆっくり議会用語を使わない。

・毎月開催してください。

・問題になったことは努力して結果を必ず後日報告してください

・様々な世代の方にお話を聞けて勉強になりました。ここで出たアイデアや意見をぜひ無駄にせず、生かして欲しいです。

・色々な年代を（もっと若い人も）でて頂きたいと思う。

・良かったです。楽しかったです。

・時々こういうカフェを開いてもらいたいです。

・予算の関係上、なかなか困難な問題がありますが、こういう交流会で少しずつでも問題解決ができるかと思います。

・次回もたくさんの方に参加してもらいたい。楽しくしてもらうことを目標にしてください。

・年代の違う人たちとの会話たのしかったです。

・こばカフェがあることを知らなかった。

・良いと思うし、これを知らない人の方が多いかと思います。もったいないです。

・次回もよろしく

・今日は来るのがいやだったが、夜でおまけに足腰が悪くてずーっと苦になっていたが、雨も降らず、本当に素晴らしい時をありがとうございました。

・議員以外の意見はよく出たが、議員個人の考え等をもっと聞かせて欲しい。

・大変良い取り組み。評価する。これが議員活動と思う。

・区役員等の参加がほとんどで、呼びかけ方に工夫が必要では。

・課題をしぼって、あらかじめ提示しておく。これによって話題が散らばるのを防ぐ。

・子供たちも、こんな場があるといいですね。

・参加者が少ないと思った。もっと工夫して人を集めて欲しい。

・次回を楽しみに

・10 代 20 代の若者を誘ってくれれば良かったと思いました。BGM もあり楽しい雰囲気で

いいですね。空間の工夫をすれば、若者も親しみやすいと思います。また来たくなりました。準備お疲れさまでした。（議員さんたちのこばカフェへの熱意も感じました。）
・今後も多く自分自身も勉強しなくてはいけないと感じました。
・毎年２～３回開いて欲しい。
・色々な年代の人が参加できるといいですね。「地域の課題」でもいいですが、「小林市の課題」と大きくとらえてもいいのではないか。
・市議とふれあえる良い機会でした。
・２度目の参加で思うのは、どの地域も子供と大人のつながり、人と人とのつながりを求めていること。各地域でしかできない祭り、行事の復活や継続、拡大をすることが大事だと改めて感じました。また参加したいです。
・地域コミュニティの創出を中学生、高校生、大人に人材を作る。大きな輪になってほしい。
・毎年あったらいいですね
・市政報告もあってよかったのでは。
・今日はありがとうございました。色々参考になるご意見や雰囲気づくりなど、とても良かったです。
・今回の結果の回答はでるのか。
・ＰＲが不足しているように思います。もう少し人が参加するような呼びかけが必要です。
・市議の皆さまとざっくばらん話すことができてよかった。
・今日話した内容が、少しでも一般質問や何らかの形で反映されると良いなと思いました。少ない人数で大変だと思いますが、今後も市のために頑張ってください。
・幅広い世代から意見を上げてみては
・大変良かった。また意見等を話し合いが出来る場が多くあって欲しい。
・今回あがった意見に対してどのような対策がとられたのか展開していただきたい
・小さいお子さんがいる家庭の方は、子供さんが保育園や小学校にいる間に来られるよう昼間の開催がきやすいかもと思いました。
・同じような機会があれば、又参加したい。
・次回もあれば参加したいと思います。
・司会からのテーマのふりもありましたが、いろんな意見が出てましたが、掘り下げる時間は足りなかったと思います。テーマを絞っても良いかもしれません。
・意見等を反映できるようにお願いします。
・いろいろな意見を聞けて楽しかったです。
・定期的に意見交換会を設けてもらいたい
・女性の参加がもっと多かったらいいなと思いました。

・大変有意義な会となりました。ありがとうございました。
・市の行政に大いに反映できるようにお願いいたします。
・よい機会の設定ありがとうございました。
・住民の参加がもっと多ければ良いと思う。
・須木のことを考える時間が持てて良かったです。市のお金のことだけあてにせず、何か自分でもできないかと思っているのですが。今動かないとと思いますが、なかなか･･･、もどかしいです。
・市民の意見をくみ上げる試みは続けていってほしいと思う
・年に数回の開催を希望
・年に２回ぐらいは行って欲しいです！！
・女性の参加があると良かった。
・これからも続けてください。
・課題よりも解決案を話し合いたい。
・また機会があればいきます
・グループでの対話形式がとても良いと感じました。
・温かい飲み物があるだけで、ずいぶん話やすく（カフェ形式で）雰囲気が良くなると思いました。
・一市民として小林市（西小林）が発展すると良いなと思います。ありがとうございました。
・とても良かった。今後も計画してください。
・今後はいらない
・年代関係なく話せて、気付かない点を知ることができました。もっとこういった会があると小林を知るきっかけになるのではないでしょうか！
・年一回くらいは良いと思う。色々な意見で自分で分からなかった悩み等（不登校等）があり、驚いたというか、ショックでもあった。
・色々な意見が出て良かった。
・議員さんが勉強されている話も伺うことができて、力強く感じました。市民と議員さんと一緒に、小林を住みよい場所にしていきたいです。
・次回も参加したいです。もっと若い人にもぜひ参加してほしいです。高校生にも声をかけたらいいかも。
・年に２～３回は行って欲しい。
・おいしいコーヒーを飲みながら大好きな小林について話ができたことに感謝します。ありがとうございました。
・市議の皆さまに感謝します。ありがとうございました。私もがんばります。
・市民の意見をまとめて議員提出をしてほしい

こばカフェ 2024 実施報告書

令和７年１月

小林市議会広報広聴委員会
〒886-8501　小林市細野３００番地
TEL　0984-23-2475
FAX　0984-23-0303
email　k_gikai@city.kobayashi.lg.jp